



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能

No. 313号

2014(平成26年) 1月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX 527-2646
発行人: 橋本 正明 編集: 広報委員会
ホームページ: <http://www.shisei.or.jp/> Eメール: shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

新年明けましておめでとうございます



昨年は、地球温暖化の影響がささやかれ、災害の多い一年でしたが、皆様にはいかがお過ごしでしたでしょうか。

お陰さまで、至誠ホームではご家族、ボランティアさんをはじめ多くの関係者の皆様に支えられ、利用者、職員共に大過なく一年を過ごすことが出来ました。有難いことと感謝です。

さて、現在日本の大きな流れとして、社会保障、社会福祉の見直しが必要です。自己負担の強化がスケジュール化されています。それは時代の大きな流れの中で、国民・市民の求める福祉サービスと、財政のバランスを取るための方策だとは思っておりますが、痛みも伴うものであることも事実です。

しかしどうあっても至誠ホームにおい

至誠ホーム長 橋本 正明



では、地域の皆様の高齢者福祉の期待に応えていくことが最大の仕事であり目的です。至誠ホームが提唱する「介護施設を中核とした地域包括ケア」に向けて本年も努力を積み重ねていく所存です。

今年、7月には東京都に対して現在計画しております「介護複合型施設(特養)」の協議書・計画書を提出する予定です。予定通りに進めば平成29年4月にはオープン出来るものと思えます。また3年を必要とする大きな事業ですが、完成の暁には、また時代に先駆ける至誠ホームの大きな実践として地域の皆様のお役にたてる事と確信しております。
本年も皆様がお幸せでありますようにお祈りしております。



<至誠ホーム諸事業>

錦ブロック

至誠特別養護老人ホーム
至誠和光ホーム(軽費)
和光診療所

スオミブロック

至誠ホームスオミ
ケアハウス・グループホーム・高齢者専用住宅
至誠ホームスオミケアセンター
デイホーム・ホームヘルプステーション
介護相談センター・福祉相談センター
コミホームヘルプステーション
至誠ホーム調布若葉ケアセンター
デイホーム・グループホーム・介護相談センター
至誠ホーム調布柴崎ケアセンター
デイホーム・介護相談センター
調布市地域包括支援センター至誠しばさき

キートスブロック

至誠キートスホーム
至誠キートスケアセンター
デイホーム・ホームヘルプステーション・
介護相談センター
立川市北部中さいわい
地域包括支援センター
立川市柏地域福祉サービスセンター
デイホーム・介護相談センター

ミナブロック

至誠ホームミナ
小規模特養グループホーム小規模多機能
高齢者専用住宅・児童グループホーム
至誠ケアセンターもとまち
デイホーム・介護相談センター
国分寺地域包括支援センターもとまち
国分寺地域包括支援センターなみき
国分寺地域包括支援センターほんだ



お祭りで御神輿来園

昨年を振り返りますと、至誠ホームの中で最も古い至誠特別養護老人ホーム



錦ブロック

ブロック長
春山 順子

新年のお慶びを申し上げます。

2014年 新年の 抱負



と至誠和光ホームの再生計画が、ここ数年の継続計画で着実に進んでおります。年度の計画でスプリンクラー補修・再生工事も実施予定です。また、平成29年度開設予定の新介護複合型施設に向けて体制づくりのプロジェクトを立上げ、検討を進めているところです。皆様のご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

一方至誠和光ホームは、今年度満50周年の記念の年にあたりました。昨年は記念誌発行や、入居者皆様による記念碑の建立を頂くなど、賑やかにお祝いをすることが出来たことを喜ばしく感謝申し上げます。

昨年はまた、ご家族と職員が共に学ぶ研修会が開催されました。大勢のご家族皆様に参加され、その関心の高さに身の引き締まる思いが致しました。

これからも錦ブロックは至誠ホームの一員として前を向いて努力して参ります。皆様からの温かいご協力に、感謝と共に変わらぬご支援を賜ることが出来ますよう心よりお願い申し上げます。



スオミブロック

ブロック長
大村 洋永



共生の街づくりをめざすシンボルの“赤門”

スオミブロックは、名称の通りスオミ(ケアハウス・グループホーム・せせらぎ)、スオミケアセンター、そして新しい調布市内の二つのケアセンターを統括する呼称です。

昨年1月の地域包括支援センター至誠しほさきに続き4月にデイホームと居宅介護支援事業所を開設。甲州街道沿いにある大きな赤門のある「調布柴崎ケアセンター」が本格稼働しました。この「赤門」が共生の街づくりのシンボルとなることを願っています。

3年目を迎えた「調布若葉ケアセンター」は地元若葉町の自治会に加入。学習会の依頼、秋祭りへの参加、また消防合同訓練などを実施。介護や防災の拠点としての期待と責任を感じます。

「スオミケアセンター」は、介護保

険上は通所介護・訪問介護・居宅支援・介護相談・コミホーム(柴崎町)での訪問介護の各事業を行い、加えて自主事業としてコミホームでの憩いの場を推進しています。地域の福祉と介護を支える個々の機能と相互の連携を一層高めることを心掛けてゆきます。

施設と住宅の機能を併せ持つケアハウス・グループホーム・せせらぎ(サービスタウン高年齢者住宅)は、至誠ホームのテーマ「明るく、健康で豊かな高齢期の生活づくり」の具現化を更に進める1年にしたいと望んでいます。



キートスブロック

ブロック長
栗原 文男

昨年を振り返ってみますと、特養ではセクションマネジャー初め、職員の若返りと言った要素が強い年でした。それでも、例年と遜色なく業務を進められたのは、職員の前向きな努力の成果だと思えます。

在宅では、柏センターも含め、通所介護事業のうち、認知症対応型のサービス提供時間を年度中間で変更し、ニーズに合わせた展開を進めてきました。トラブルもなく、今日までできています。ヘルプでは、登録型職員の採用が徐々に難しくなってきたのを感じ



キートス喫茶で集う仲間たち

じています。包括では予防プラン作成の専任体制をより強化し、その他の相談援助機能等を柔軟に進められるようにしてきました。ケアマネ業務は、順調に事業展開をしてきました。

2年目に入った、シルバークリアの生活援助員派遣事業も、立川市との連携の下、具合よく事業がすすめられています。また、柏センターでは、念願だったエアコンの改修工事に着手し、今後さらに3年間かけて更新していきま

す。本年も、入居者の方、在宅サービス利用者の方々の、その人らしい生活の実現と、人間関係づくりを大切にお手伝いできたらと考えています。

いつの時代になっても、ホームが地域住民の財産として、地域に愛され支えられるとともに、積極的に役にたつ施設づくりを目指していきます。



ミンナ全体のクラブ活動 リズム体操

ミンナブロック



ブロック長 旭 博之

皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中も大勢の皆様に変なお世話になりました。本年もなにとぞよろしくお願い申し上げます。

早いもので「至誠ホームミンナ」は五度目の新春を迎えました。

昨年は特養・GH・住宅とすべての入居系事業について入退去や入退院などの出入りが少なく安定して落ち着いた年でした。市内においても、また至誠ホームのなかでも唯一の事業である

「小規模多機能サービス」についても年度後半から登録者が増え、ほぼ満員御礼の状態が続いています。

10月1日からは至誠ホームミンナ併設の「地域相談センターなみき」が市内の全てのセンターを包括支援センターにするとの国分寺市の方針によって「地域包括支援センター」へと格上げになりました。さらには、プロポーザル事業で獲得した、国分寺市本多地区を受け持つ、新規事業「地域包括支援センターほんだ」の事業も同じく10月1日に仕事を開始し、相談の多さに

至誠ホーム新介護施設(特養)等 建設資金募金ご協力をお願い

至誠ホームでは昭和26年、立川市の多摩川沿い、甲州街道にかかる日野橋のたもとで高齢者福祉の仕事が始まりました。開設当初は定員32人、職員3人の小さな老人ホームでした。以来60有余年、戦後の混乱期から、現在の超高齢社会に至るまで一貫して「まことの心」と「人間尊重」の理念を掲げ、高齢者福祉・介護の事業を続けて参りました。

現在では立川市錦町、幸町、国分寺市そして調布市に於いて事業拠点を形成し、地域の皆様に信頼され役立つサービス実現に取り組んでおります。今、私たちの取り組んでいるテーマは「介護施設を中核とした地域包括ケア」の実践です。

現在、東京都においては4万人、立川市に於いても数百人の重介護の方が特養の入所を待っており、在宅介護サービスが徐々に充実してきていますが、それだけでは解決しない深刻な地域の高齢者福祉・介護問題となっております。

この様な状況の中で、至誠ホームでは立川市錦町キャンパスに、平成29年度事業開始を目指

スタッフもうれしい悲鳴をあげています。

この体制移行により、国分寺市内に6か所ある地域包括支援センターのうち3か所、半分の運営を至誠ホームが引き受けています。

市内3か所でチームワークよく、気持ちも新たに、市民の皆様・行政の期待にますます応えられますように頑張つてまいります。

本年が、馬の跳躍のごとく飛躍する年でありますように。

して、定員129名の特別養護老人ホームの建設に取り組んでいます。この施設は地域支援機能として、定員40名の個室・ユニット型の短期利用専用フロアと、認知症を含めたデイサービス事業を併設します。同時に地域に要望の高い障害者の短期利用ホーム6室も併設いたします。

また新施設開設に合わせ、既存の至誠特別養護老人ホームのリニューアル工事を実施し、居室も二人部屋と個室を中心とした環境の改善を図ります。

この計画の最大の課題は法人自己資金の確保です。この新施設の建設事業等に皆様のご支援をいただきたく、募金ご協力をお願い申し上げます。この施設の建設により、一層地域の皆様のご要望にお応えできる至誠ホームになるものと確信をいたしております。

皆様の熱いご支援を心からお願いを申し上げます。

至誠ホーム新介護施設(特養)等 建設資金委員会

委員長 岩崎 春伸

社会福祉法人至誠学舎立川

至誠ホーム長 橋本 正明

「ブラジルからの風」

— 活躍する日系2世の職員 —

現在、至誠ホームには外国籍の働く仲間が12人いらっしゃいます。正職員を含んだ介護職が10人、夜勤介護の方が2人。女性9人、男性が3人です。出身国は中国、韓国、インドネシア、フィリピン、そしてブラジルの5か国です。各所属で皆さん元気に働いておられます。配偶者が日本人という方が多いのですが、ブラジルからは日系人としての就労ビザで来日された方もいます。

現在、来日以来、もうすぐ10カ月になる本間菜穂子さんです。

昨年3月、CIATE（国外就労者情報支援センター）を通じて至誠ホームへ来られました。ブラジル・サンパウロ市で研修会を受け日本で就労するための介護準備講座を経て、30時間もの飛行時間で日本に来られました。

来日される前は、至誠ホームとスカイプ（インターネットを使ったテレビ電話）を使ってホーム長と私で、本間さんと面接を行いました。笑顔が素敵な方でした。

これは一昨年、橋本正明ホーム長がブラジルに行かれ、ブラジルと日本の架け橋を作られたのがきっかけです。

CIATEはブラジル在住の日系人の方で就労ビザを活用して日本で働く意欲のある方へ相談業務や研修会を通じて必要な情報を提供しています。

本間さんは至誠特養ホームの3階で他の職員と同じように介護の現場で勤務されています。とても穏やかな方です。いつもにこにことお年寄りの方に接する人気者です。日系2世の方で外見は日本人と変わりません。ただ、日本語はまだ十分ではないので、ゆっくりとした会話になります。とても頑張り屋さんで、もともとと仕事を覚えたいと意欲的です。

ブラジルに比べ日本の寒さに堪えられないかなと思いましたが健康な方で風邪も引かずに頑張っています。

ホームとしては今後も、多くの外国の方を受け入れ、CIATEと連携して働く意欲のある方を迎え入れていこうと考えています。

統括事務局長 金井 裕一

インタビュー

現在ブラジルからCIATEを通じてお見えになり、働いていらっしゃる本



瀬谷さん（利用者）と本間さん（左）

間さんにお話を伺いました。

Q 自己紹介をお願いします。

A ブラジル出身の日系2世です。ブラジル、サンパウロで生まれ育ちました。とても話好きですが、母国語のポルトガル語でもいっきり話ができないのが残念です。日本語は少し話せますが、まだまだなので、勉強中です。日本で働くのは2回目です。1回目はメーカーの工場で大勢のブラジルの人たちと働きました。今は至誠ホームの職員寮に入っていて、至誠特別養護老人ホームの3階フロアで働いています。

Q 日本の生活には慣れましたか？

A まあまあ慣れました。でも、日本語が難しいです。柴崎学習館で行われている日本語講座に週1回通って、ボランティアの先生から日本語を習っています。今習っている日本の歌は「雪」（小雪やこんこん...）です。

Q 日本で福祉の仕事をしよと思ったのはなぜですか？

A 1年前ブラジルで介助の仕事をした時に、自分が覚えることも多いし、福祉の仕事をする自分にも返ってくるものがあると感じました。お金だけでなく他の仕事もあるのですが、自分にとって充実した仕事だと思いました。ちょうどブラジルの日系人向けの新聞にCIATEで介護の勉強が出来る出ていたので応募しました。そこでの研修をうけ、至誠ホームに来ました。

Q 福祉の現場で働いてみてどうですか？

A 日本語がわからず、難しいことや時間がかかることもありましたが、1つ1つ覚えて頑張っています。もともと介護の勉強をしたいと思います。利用者の方が亡くされると、とてもさみしいです。

Q ブラジルでは今年ワールドカップが、2016年にはオリンピックがありますね？

A そうですね。最近の若い世代は別として日系人はサッカーに燃える人は少ないので、日本人の方が私より良くご存知です。オリンピックは東京の前がブラジル・リオデジャネイロです。

Q ブラジル料理にはどんなものがありますか？

A パステイオといって、小麦粉で作った皮にチーズややしの芽を包んで油であげた料理などがあります。

顕彰のご報告

東京都や東京都社会福祉協議会より表彰・感謝状を戴きましたのでご報告いたします。

①都民の日に表彰

10月1日の都民の日に福祉・医療・衛生功労者として、旭博之至誠ホームミナ園長が東京都知事表彰を受けました。表彰式は東京都名誉都民の顕彰式と合わせて行われました。

②東京都高齢福祉功績者

10月29日に、至誠特別養護老人ホーム鈴木篤副園長が高齢福祉の増進の功績に対して、東京都知事感謝状を受けました。

③東京都社会福祉大会での表彰・感謝

12月20日に行われた東京都社会福祉大会では、至誠ホームスオミ・グループホームの有賀清美職員が永年に渡り高齢者福祉に携わった功績に東京都知事感謝状を受けました。

また、至誠介護相談センターの加藤千枝子職員が東京都社会福祉協議会会長表彰を、至誠キートスデイサービスセンターの齋藤久美子チームリーダーと至誠柏介護相談センターの荒井央チームリーダーが東京都社会福祉協議会会長感謝状を受けました。

この東京都社会福祉大会では、ボランティア等社会福祉協力者として至誠ホームで洗濯物たたみや、ご利用者

の介護用品をミシンで作製する活動をしてくださった吉崎武子様に東京都社会福祉協議会会長感謝状が贈られました。永年に渡りボランティア活動を続けていただいたこと、感謝の念に堪えません。永年ボランティア活動を続けてこられた方が、このように感謝状を受けられることは私どもにとっても大変うれしいものです。

職員の表彰・感謝は至誠ホームで高齢者福祉に携わり、皆様に支えられてきたおかげと感謝いたしております。今後も一層の努力をして参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

後援会コーナー

新年のご挨拶



後援会会長
梅田 尚裕

あけましておめでとございます。本年もよろしく願っています。

さて、私事ですが、4年前からパーキンソン病にかかり、運動とりハビリをかねて至誠アクティブセンターに通っておりますが、なかなかよくなることは困難です。現状維持ができればよしとしなければなりません。

「誰もが安心して豊かな高齢期が送

れるように」をモットーに今年も後援会活動にがんばって参ります。皆様のご協力とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

後援会費納入者ご芳名

誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。
(敬称略・順不同)
平成25年10月1日〜平成25年11月30日

- 原 忠昭 小林謙一 荒井 文
- 神谷良江 堀江登代子 光西寺
- 堤 政江 鈴木幾代 高久征子
- 八百功商店水村功 鳥山八重子
- 下東玲子 中村奈保 アオキ住宅機
- 材販売(株)代表取締役社長米山鐘一
- (株)ワタナベ 小松 滋 小松万壽子
- 永山幸子 内田好彦 佐藤泰道
- 三宅孝二 荒川陽一朗 梅田尚裕
- 下川綾子 大西信一 以上25名

後援会加入のお願い

皆様方の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。お申し込みは左記事務局へ

至誠ホーム事務局

立川市錦町6-28-15
電話 042-527-0031

至誠キートスホーム事務局

立川市幸町4-14-1
電話 042-538-2323

至誠ホームミナ事務局

国分寺市並木町3-12-2
電話 042-300-3700

会費 2000円以上
会長 梅田尚裕

第19回至誠ホームサービス向上大会のお知らせ

至誠ホーム職員によるサービス向上への取り組みを発表します！ご家族・ボランティアの皆様、地域の皆様お気軽にお越し下さい！

日時 平成26年3月14日(金)

19時開会

会場 立川市女性総合センター

アイム 1階ホール

入場無料

参加希望の方は直接会場へお越し下さい。

内容

○発表 代表3サークルの取り組み・天寿を全うするケア研究会(報告)

○審査員 立川社会福祉協議会

事務局長 近藤忠信様
文京学院大学 教授 山村 睦様

主催 社会福祉法人至誠学舎立川至誠ホーム
(担当 サービス向上委員会)

至誠ホームのサービスをより良いものにすることを目的に様々なテーマを設定し、職員が取り組んだ経過と成果を発表します！皆様のお越しをお待ち申し上げます。

ボランティア受入/福祉学習協力状況

Table with 3 columns: 種類, 期間, 平成25年度10月~11月, 平成25年度累計. Rows include 一般ボラ, インターンシップ, ボランティア体験, 実習・研修, 体験学習, 見学・視察, ご慰問・ご招待.

ボランティア活動状況 活動内容別

Table with 3 columns: 活動内容, 期間, 平成25年度10月~11月, 平成25年度累計. Rows include 生活支援, 健康づくり, 生き甲斐支援, 地域支援, 行事, 事務等, ボランティア体験, 合計.

ボランティア活動状況 地区別

Table with 3 columns: 地区別, 期間, 平成25年度10月~11月, 平成25年度累計. Rows include 錦地区, 幸・柏地区, 国分寺地区, 合計.

至誠ホーム利用者状況 (平成25年10月1日~25年11月30日) ():実人数

Large table with 5 columns: 事業内容, 10月, 11月, 累計. Rows are categorized by 事業内容 (e.g., ふれあい夕ごはん事業, ホームケア食事サービス) and 事業所 (e.g., 自立者短期入所事業, 通所介護).

* 入居施設定員 至誠特別養護老人ホーム150名、至誠ホームキートス70名、至誠ホームミンナ小規模特養29名、至誠和光ホーム50名、至誠ホームスオミ・ケアハウス50名、至誠ホームスオミ・グループホーム9名、至誠ホームミンナグループホーム18名
* サービス付高齢者向け住宅せせらぎ15戸、高齢者専用賃貸住宅「楽」7戸

<> はV体験で内数

ホーム日誌

平成25年10月1日~平成25年11月30日
CH・ケアハウス、GH・グループホーム
自主研・職員自主研修会

- 10月 国分寺地域包括支援センターほんだ開所/赤い羽根共同募金
3日 立川市立第3小学校交流会(錦地区)
5日 自主研「センター方式について学ぼう」(キートス)
6日 絵画教室写真会昭和記念公園にて(錦地区)
8日 タイより施設見学(錦地区)/自主研外部研修報告「高齢者福祉施設での虐待防止」ユニット型施設の運営システムと最新の重篤化対応のケア(キートス)
10日 食事懇談会(キートス)/給食委員会(和光)/コーヒータイトム(ミンナ)/監事監査
11日 ビアタイム(ミンナ)
12日 至誠合同バザー
15日 運営推進会議(若葉GH)
17日 みたから幼稚園お遊戯披露(ミンナ)/職員採用セミナー/和光役員会
18日 安全衛生委員会主催「スポーツ大会」
19日 錦町文化祭作品展示会(錦地区)/ぶらっとなみきサロン(ミンナ)/ともしびご法話/理事会評議員会
20日 錦町文化祭作品展示会(錦地区)/おもちゃ図書館(キートス)
21日 自主研「ポジショニング」DS支援効果(キートス)
22日 文化講座(錦地区)/チェロ&ピアノコンサート(ミンナ)
23日 居酒屋キートス/井原先生相談日コーヒータイトム(ミンナ)
24日 家族会幹事会(錦特・和光)
26日 運営推進会議(スオミGH)
30日 運営懇談会(スオミCH)

ホーム日誌

平成25年10月1日~平成25年11月30日
CH・ケアハウス、GH・グループホーム
自主研・職員自主研修会

- 11月 故橋本良市理事長7回忌
ホームヘルパー再チャレンジ講座
地域高齢者講習会
3日 自主研「テナーの当て方」(キートス)
5日 ビオラ&ピアノコンサート(ミンナ)
6日 ボランティア活動報告会(錦特)
7日 ボランティア講座(キートス)
9日 悠遊倶楽部世話人会/悠々セミナー「オペラコンサート」
12日 ホーム委員会(錦特)/中長期計画策定委員会/看取りに関する説明会(ミンナ)
14日 食事懇談会(キートス)/給食委員会(和光)/コーヒータイトム(ミンナ)/なみき庵(ミンナ)
15日 せせらぎ懇談会/安全衛生委員会「ボーリング大会」
16日 ともしびご法話(錦)/ぶらっとなみきサロン(ミンナ)
17日 おもちゃ図書館/陶芸教室(キートス)
19日 至誠ホームリーダー研修会
20日 認知症事例研究
21日 和光役員会/居酒屋キートス
22日 ホーム長講和自主研「施設を中核とした地域包括ケアシステム他」/第三者評価利用者調査(キートス)
23日 幸町文化祭作品展示会
26日 和光集会/契約職員研修
27日 運営推進会議(ミンナ)
28日 運営懇談会(スオミCH)/コーヒータイトム(ミンナ)/自主研「感染症について」医療知識
30日 キートス集会/天寿ケア研究会主催研修会

感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く御礼申し上げます。(敬称略)
平成25年10月1日~平成25年11月30日

① 金員の部
石川久治郎 師岡幸太郎

佐々木猛夫 櫻田てるこ 下東玲子
高久征子 光西寺 若林美保
西垣 森 内田好彦 荒川陽一朗
下川綾子 大西信一 15件(延255件)

② 物品の部

内野光子 本多利道 荒瀬アツ子
齊藤和子 渡邊正樹 一般財団法人
日本いきいき財団 (社) 東京都
社会福祉協議会東京善意銀行
社会福祉協議会センター「くろろ会」
事務局 三井住友海上管弦楽団
粕谷 旭 青木八重子
至誠ホーム出版会 宮崎富司
16件(延84件)

③ ボランティア

(1) 一般ボランティア(錦地区)

【立川市】菊正会 おはなしたまご
NPO法人立川レクリエーション協会
髪職人 錦六茶友会 鈴の会
真如苑社会貢献部 すだちの会
なでしこ 談話室アイアイ
みどりの会 もみじ会 遊木会
立正佼成会壮年部ボランティアチーム
朗読サークルこえ

相田茂子 赤松富子 麻生ミエ
綾部 勇 安藤道子 五十嵐和子
伊藤信子 今村サユリ 梅津美和子
及川悦子 及川清一 大古春子
大澤康子 太田 利 大館純子
小川 隆 奥 一郎 小栗カツ子
尾園栄子 小侯かつ江 梶浦善江
加藤衣子 加藤典子 金澤ンズ子
川崎秀子 神田ミヨ 岸 幸子
木村千世子 蔵田郁枝 黒羽里枝
小松万壽子 近藤庄司 坂本美智子
佐藤カヨ子 佐藤さち 佐藤美智子
山同千賀子 篠原園子 篠村綾子
ジョージ兼路 杉田幸子 鈴木恵子
鈴木幸子 瀬戸章子 高田和彦
田中由紀子 玉井末子 田村和子
田村雅子 遠山百世 戸田ワミ子
永野和江 永山幸子 野村源次郎
野村祥子 橋本美津子 橋本ライヤ
島山知也 坂場雛子 浜中広見
深水芳子 古谷文子 宝諸博文

前中美佐子 前中光雄 松田廣子
百瀬千枝 矢倉弦雄 安ヶ平金造
山岸國麿 山口京子 山下記代子
山田ハル江 山本久仁子 吉川厚子
吉田一男 米山勝利 若村ふみ子
渡部調匡 渡辺正志
【目野市】ウケホアヘレ 音楽ひろば
クイーンマジッククラブ
池田貞栄 石井匡代 今井幸子
岩下昭子 遠藤宣子 大場春子
金尾眞砂子 倉林 武 小塩菊子
阪口満里子 須山ひとみ 竹内美幸
直井 節 永島律子 西垣まき子
吉野益石 平沢 一雄 目黒美知子
西崎武子

【国立市】 明石浦子 蔵多美智子
国生友子 国分金一 玉井末子
戸田竜史 中澤妙子 温品典子
久野安沙子 向井みどり 前田博美
【国分寺市】 芳賀邦正 前田博美
【他市】 聖書の会 ともしひ法朗会
チーム今村 マヤワールドピース
阿川聰子 磯崎静子 板倉 萌
小川滋子 加藤晴枝 木下ほのか
坂田哲男 坂本優人 佐藤杏南
島村正博 鈴木保明 渡邊綾子
延1290名

【立川市】 阿部志げ子 磯野俊雄
大井田フサエ 加藤 清 金子元衛
金三津ゆき子 宮下皆子 永山幸子
【目野市】 小澤洋一 延59名
【一般ボランティア(キートス)】
【立川市】 柏町団地隣人会 音楽隊
朗読サークル「こえ」 おもちゃ図書館
幸オカリナサークル たかのみち保育園

青木豊子 青木融子 浅川恵子
網代とも子 阿部たい子 荒井和子
飯村三郎 生澤清子 池田三郎
石川悦子 板羽多枝子 市谷諒子
乾 由紀子 岩井川勝代 岩田綾子
岩橋弘美 内海千代子 梅津美和子
潤井和子 及川宏克 大西次子
大庭文子 大森千代子 奥野智恵子
織原良江 加賀晴子 加藤幸子

金森 耐 樺沢啓二 菅生佳子
河野美和子 河村裕理 菊池正勝
北瀬明子 絹谷光江 木村浩通
草場久子 紅林由美子 黒田眞知子
河野秀子 神山喜久江 小昏久美子
齋藤 博 齊藤明子 坂口洋子
桜井千恵子 櫻井百合子 澤田照代
三中西せい子 三中西博介 鈴木洋子
柴田きよ子 諏訪幸子 関根太治
高橋 貞 高橋明子 高橋ひさ
高橋征子 高橋雪子 高橋好弘
武井容子 田中清子 田中秀穂
田中真知子 田中美智子 田邊シゲ子
鶴巻清子 鳥居美都琉 中澤 廉
中根幸子 中野庸夫 中務信行
中山康之 成田 綴 中山早智子
西山靖子 二瓶祥子 西村次子
服部ちづ子 濱田弘子 羽鳥垂矢
平本千代子 藤井美千代 羽村ミサ子
別府ひろ子 本間秋子 藤原大生
溝口礼子 嶺岸真子 松本和美
向島よし子 村野紀美子 宮坂 栄
持丸 治 持丸弘子 村野順大
元島美子 桃野幸子 本木紀作
山口弘子 山崎絹江 山根次博
山宮久美子 吉村竹美 米澤 稔
渡辺佳子 渡会和子 渡会弘恭
【国分寺市】 井上允恵 岩崎京子
岩澤マリナ 大井 京 小野千代
小野俊雄 勝倉ナホミ 加藤康子
鈴木幸子 時枝由美子 中野めぐみ
中山淳子 橋本美穂 藤本睦代
山本佳子 藤本睦代

【他市】 ロゼラニ・ウイングス
NNガールズ
内田喜美子 内田純子 小澤 廣
影山和子 児玉早苗 佐々木染子
佐伯節子 新海寿美子 鈴木真弓
鈴木洋子 高野信子 伊達美紀
伊達美紀子 寺崎勢津子 富永勝人
長浜久美 錦織雅子 入戸野政代
林 幸子 土方和子 肥田木雅子
福島央巳 保坂栄子 松井順子
山田佳子 横川澄子 横川好行
若杉恵美子 若山千恵子 渡辺保子

【一般ボランティア(柏センター)】 延869名
東 トク 石橋京子 市村敏雄
岩田綾子 潤井和子 大山紀子
黒田直子 小林正子 小林好子
小山安子 篠田紀子 鈴木真弓
高橋明子 高橋雪子 中野庸夫
羽村みさ子 土方和子 平野富士枝
広木かほる 福西正弘 師岡恵美子
鷲沢美美 延132名
【一般ボランティア(ミンナ)】
【国分寺市】 熊崎咲子 熊崎 弘
笹谷信子 佐野文子 中村啓子
山根泰宇 三谷雄次 原垣内和加子
井上和江 滝沢百合子 新澤 明
角 文喜 濱ひで子 大澤早智子
杉浦美美子 栗原克徳 丸山秀雄
【他市】 延95名
【一般ボランティア(もともち)】
【国分寺市】 国分寺市赤十字奉仕団
石橋幸子 池田幸子
仲 静宏(他7名) 畠 義人
山本賢弥 横山交子 和田博子
【他市】 福田洋子 吉富晶子
萬 由美 延59名
【一般ボランティア(調布若葉)】
【調布市】 石橋隆二 江上芳子
小川芳昭 押部忠康 小泉圭右
齊藤 孝 椎名ひさよ 田代和美
中澤禮吉 深瀬やす子 萬 由美
渡辺隆雄 延39名
【一般ボランティア(調布柴崎)】
【調布市】 延12名
(2) ボランティア体験
至誠保育園 東京都立立川国際中等教
育学校 延54名
【キートス】 延9名
立川市立立川第五中学校
【柏センター】 なし
【ミンナ】 なし
【もともち】 なし
【調布若葉】 なし

【(1) 実習研修】 延869名
◎社会福祉士実習
明星大学 福田美夢(23日) / 日本社
会事業大学 道祖田聖也(19日) / 立
教大学 坂井志帆(12日) / 昭和女子
大学 石山あゆみ・八田みのり(各5
日) / 日本社会事業大学通信教育科
佐治由布(23日) 6名 延87日
◎介護福祉士実習
東京YMCA医療福祉専門学校 近藤
七恵 鈴木悠聖・大久保彩乃・山田拓哉
(各15日) 川口恵瑠(10日) 5名 延70日
◎ユニトリーター研修
田中清一郎・内田麻利子・畑野律子・
川原里美・剣持華衣・正木早織・山口
美雪・安藤治男・中村春妃・村上泰司
・宮崎雄也・桃井啓・日浦彰久・上原
孝洋・村上理江・斉藤豊・千北優子・
若田部恵利子・伊東美智代・今関恵子
・高山友博・内海尚登・網本新・鈴木
健太・門谷勇志 25名 延125日
◎その他の実習
介護老人保健施設わかば 小野浩・和
田千枝(各2日) / ブラジルNPO
有田章子・マルシアアレメス(各4日)
4名 延12日

【(2) 体験学習】
◎教員免許取得のための介護等体験
(錦地区)
東京学芸大学 / 東京女子体育大学 / 共
立女子大学 / 早稲田大学(各5日、うち
2名は各4日) 27名 延133日
【キートス】 東京学芸大学(17名) 各
5日 17名 延85日
【(3) インターンシップ】 計0名 累計2名
【(4) 見学・視察】 計27名 累計126名
タイ・パイヤップ大学看護学部(25名)
/ (株)シエラ(2名)
【(5) ご慰問・ご招待】 計27名 累計126名
みたらから幼稚園児・先生(計106名)
/ 国分寺市青少年ボランティア小中学
生・先生(計26名) 計132名 累計132名

福祉学習協力

計132名 累計132名

家族による介護の素敵なご提案

平成23年4月に「サービスタ付き高齢者向け住宅・せせらぎ」(スオミ・ケアハウス西側の建物)に入居された鈴木文(すずきふみ)さんに、ご主人の介護のお話を伺いました。

(以下、鈴木文さんのお話。)

夫は4年前から至誠特別養護老人ホームでお世話になっていました。見舞うたびに出来る限り車イスを押して根川の淵を散歩。長くてもせいぜい1時間程度でした。

たまたま、2年半程前の『至誠ホームだより』に、「シルバードアしせい」が高齢者専用の賃貸住宅にリニューアルされ、新規入居者募集の記事を見つけ、「これだ!」と思い、すぐ申し込んだところ、幸いに私はここに入居することが出来ました。

それ以来、車イスを押しながら歩いて数分の距離を週1・2回、「我が家」に夫を連れて来て、4時間近く滞在し帰ります(私が1年前に脳梗塞に罹り、幸い短い入院で済みましたが、今は娘が帰りの送りを手伝ってくれています)。夫は耳が遠いので、私たちは誰はばかることなく大きな声で語り合ったり、トランプゲームなどをします。夫は『3点足す3点、これで6点だな』



さあ、これから“わが家”にお出かけ!

と、特養ホームに入れて頂いた頃は出来なかった計算が、私よりも早く出来るようになりました。

私たちには息子と娘が一人ずついて、今では孫が4人、曾孫が6人になり、「大おじいちゃん」「大おばあちゃん」と呼ばれています。

つい先日のこと、娘が『お父さん、今日は嬉しいことがあるよ!』と、孫が生まれて間もない子ども(6人目の曾孫)を連れて夫に見せにきました。曾孫たちを連れてホームに訪問していた頃は、曾孫の飛び回る姿を見てハラハラしましたが、今は気兼ねがありません。

夫は93歳、私は87歳。夫の笑い声を

聴き、私がここに来て良かったと心より思っています。子どもたちも『思い通りになって良かったね』と共に喜んでくれています。

(聴き手・大村)

「至誠ホーム」のもう一つの利用の仕方

特養ホームに入居した夫を、妻が近くに寄り住んで、無理のない範囲で、「自宅」に連れて来て、豊かな家族の時間を共に過ごす。これはまさに「新しいタイプの家族介護」だなど、お話を伺っている私のほうが心おむ思いました。

至誠ホームには、せせらぎの東隣に「スオミ・ケアハウス」があります。せせらぎと共に「早めの住み替え」がテーマの施設(住宅)です。

コンセプトは、元気なうちに一人ないし夫婦で移り住み、①健康づくり ②文化活動 ③社会参加活動を三本柱として生活をエンジョイし、介護が必要になった時には介護保険を利用しながら生活の継続を図ります。

鈴木文さんは現在、要支援1。至誠

ホームのリハビリとホームヘルプを利用しながら、要介護3(入所の時は4)の夫の「介護生活」をしています。

「元氣な家族(夫とか妻とか)が施設の近くに「早めに」移り住み、自身の生活も楽しみながら、施設で暮らしている家族に対する家族介護を無理のない範囲で継続していく」、これこそ新しい、そして素敵な家族介護ではないでしょうか。

鈴木文さんは手品サークル「鈴の会」の代表として、ボランティア活動を継続しています。

至誠ホームスオミ園長 大村洋永

スオミケアハウスの空き情報

(平成25年12月1日現在)

二人部屋(ご夫婦や姉妹等)のEタイプ(61㎡)が空いています。5階の南東向き。

月額経費: 居住費 80,700円

生活費一人 44,810円

サービスの提供に要する費用一人

10,000~73,200円

お問い合わせ: 042-527-0033

大村・佐藤まで